

フローリング(一般用)
の施工上の留意点

後藤木材株式会社

岐阜県岐阜市大倉町 12

TEL.058-271-3000

FAX.058-271-3550

【販売代理店】

株式会社 こうけん

鹿児島市田上台 2 丁目 43 番 1 号

TEL.099-284-7073

FAX.099-284-7080

1. 圧密関係フローリング(一般用)施工上の留意点

① 製品の搬入、保管

無垢材の性質上、膨張、収縮を防ぐために開梱した状態で必ず一週間以上放置し、十分に施工現場環境に馴染ませる。

保管は直射日光や雨水のかからない屋内の乾燥した場所に台や栈木を介して水平に置く。搬入時の取り扱いは丁寧かつ慎重におこなうこと。

② 天然木材を使用していますので一枚ごとに色柄が異なります。施工前に仮ならべを行い、色柄のバランスを考慮して割り付けてください。

③ モルタル下地は施工後、3週間以上経過していることを目安とし、含水率が8%以下になるまで十分乾燥させ、モルタル用水分計で測定して、測定検査成績書を施工者が添付すること。下地に湿気があるとフローリングが湿気を吸収し伸びが生じる。下地は十分に乾燥させて下さい。下地に湿気があるとフローリングが湿気を吸収し伸びが生じます。(ソリ・膨れの原因)

④ 必ず合板の捨て貼りをし、合板は12mm以上の耐水合板を使用してください。また、捨て貼り合板の間は、2~3mm開け、継ぎ目段差がないように施工します。その際、捨て貼り材の継ぎ目とフローの継ぎ目が揃わないようご注意ください。

⑤ フローリングは、接着剤併用隠し釘打ち貼りとしてください。

- ・接着剤(JIS A5536) ポリウレタン樹脂接着剤
- ・釘 ステープル釘

⑥ フローリングの貼り方

下地材の捨て貼り合板にポリウレタン接着剤を全面塗布した後、割付した墨出し線に沿って、曲がり、浮きがないように注意して、雄実基部に40~45度の角度でステープル釘を斜め釘打ちしてください。但し、木材の吸湿による膨張を考慮して、フローリングの長さ方向、幅方向とも目地は接着・密着させず、スキマゲージなどで十分かつ均等な間隔を開けてください。目安として常時、空調装置が作動している場所に使用する場合は、長さ方向、幅方向ともに0.3mm程度の間隔とし、比較的外気の影響を受けやすい場所は、長さ方向、幅方向ともに約0.5mm程度の間隔を開けてください。釘のピッチは、300~360mm程度としてください。

⑦ 壁際部分は、湿気による突き上げの起こる恐れがありますので5~10mm程、間隔を取った方が安全です。間隔部はクッション材又はシリコン等で充填してください。

2. 養生

- ①. フローリング張り込み時に使用した接着剤を十分乾燥・固化させるため、床貼り終了後、1週間程度の養生を行ってください。
- ②. **無塗装品及び自然塗料塗装品には、養生テープは絶対に使用しないで下さい。**養生テープを使用しますと、剥がす際にフローリングがキズつきます。又、塗装品の場合は塗装が剥がれます。
- ③. 施工後は傷や水濡れから床材を守るため、床をきれいに清掃し養生シートを伏せてください。
- ④. 養生シートの上からペンキや雨水等がかかるとシミになることがありますので注意してください。
- ⑤. 養生シートは必ず養生専用シートを使用してください。
- ⑥. シートは養生専用の物意外を使用すると、床材表面を傷めたり、変色、ワックスのはじきを生じたり、粘着剤が残るので注意してください。
- ⑦. 施工後は、高温多湿の状態では締め切ると、床材を突き上げの原因になることがあるので換気を充分に行ってください。
- ⑧. 養生期間が長期間になる場合は、吸湿などにより膨張する恐れがあり、その状況下における適切な処置をしてください。

3. フローリングのご使用時の注意点

- ① 室内に余分な土やホコリ及び水分を持ち込まないように、屋外に面した出入り口には防塵マット等を設置して下さい。常時水がかかる恐れがある浴室の入口や洗面所等は、水切りマットのご使用をお勧めします。水に濡れたまま放置することでシミや変色だけでなく、カビの発生やフローリングの膨張による膨れや反りの原因となります。
- ② 重量物の搬入・搬出の場合、フロー表面の損傷を防ぐために、合板等で床面を保護して下さい。
- ③ フロー表面に傷がついて木部が見える場合、傷が小さければ、市販のウッドパテ等で補修してください。傷が大きい場合は、手直しが必要です。この場合、専門家にご相談ください。